

環境
政策課

工事の安全を祈る

新焼却施設建設工事安全祈願祭



新焼却施設建設予定地

6月5日、新焼却施設建設工事の安全かつ速やかな完成を祈って、安全祈願祭が執り行われました。

祈願祭では、宮司による祝詞奏上や四方はらいの儀式に続き、木山耕三市長と関係者によるくわ入れなどが行われました。

新施設では、焼却時に発生する熱を、施設内で温水の熱源として利用するほか、敷地内の路面の凍結防止などに利用するよう計画しています。また、ごみの焼却工程を理解してもらえるように、施設内に見学者用の通路や、展示スペースを設置することとしています。

これから、令和4年4月の供用開始を目指して工事を進めていきます。



木山市長によるくわ入れ



宮司による祝詞奏上

比和支所

博物館学校連携事業

比和中学校の総合的な学習の時間での学習支援

比和自然科学博物館は、教育機関と連携し、学習機会の充実を進める取り組みを行っています。その一つとして、「総合的な学習の時間」の学習支援を行っています。

6月3日、8日には比和中学校1年生に授業を行いました。3日は、吾妻山をはじめとする比和の自然の成り立ちと、自然科学の考え方を紹介しました。8日は比和財産区の山林で植物観察などのフィールドワークを行いました。

今後も比和中学校で、比和町特産のソバの栽培体験や、身近な環境に生息する昆虫の標本作りを行い、自然と生態系について学習します。

その他、比和自然科学博物館は「市内小学校への出張授業」や「博物館見学による学習対応」なども行っています。

地域財産である博物館の収蔵資料や研究成果の活用と、郷土の自然に誇りを持つる学習機会の充実など、教育機関と連携した取り組みを継続していきます。



フィールドワークで植物観察



昆虫の標本を使った比和の自然についての授業